

NORTH LIBRARY



兵庫県立加古川北高等学校
図書館だより
第6号
令和3年11月17日発行

コインは“長方形”でもある！

佐藤信夫著『レトリックを少々』(新潮社)の中に「創造性としてのレトリック感覚」という章があり、「コインは円形か」と身近なコインを通じて疑問が投げかけられています。教科書にもよく登場する作品です。

「百円玉は円形だ」と「百円玉は長方形だ」という2つの文の論理的構成はほとんど等しく、接触する頻度の差が認識の差になり、言葉になって表現されることになる。価値観が多様化した今の時代、相互理解を深め、新しい視野を獲得するためには、「別の視点に立ってみるとどんな具合にもが見えるかということ」を思い描くことのできる能力が求められる」という内容のものであります。

忙しい日々の中でも、忙しい日々だからこそ、読書を心がけることの意義は、そこにあるのではないのでしょうか？ いつのまにか視野が狭くなっている自分、知らず知らずに縛られている自分に気づき、**見えない「枠」から自分自身を解放**してくれます。そして、「**自分とは異なる立場から見える景色を思い描く**」力を養ってくれます。**社会に出た時、きっと役に立つ力となるはず**です。1、2年次生はもちろんのこと、受験勉強中の3年次生も、進路が決まって落ち着いた人は、大学生活が始まる前に、ぜひ、図書館に足を運んでいろんな本を読んで欲しいと思います。



本屋大賞ノミネート、有村架純主演で映画化もされた『コーヒーが冷めないうちに』。喫茶店の名前は、フニクリフニクラ。この物語は、そんな不思議な喫茶店で起こった心温まる四つの奇跡。



スペシャルサマースクール—新時代をよりよく生きるため先入観にとらわれない人材育成を目標に7人の中学生が同じ環境、食べ物、服装、体調の中で夏休みの3週間を過ごす。参加させられた中学2年生の舞は・・・。



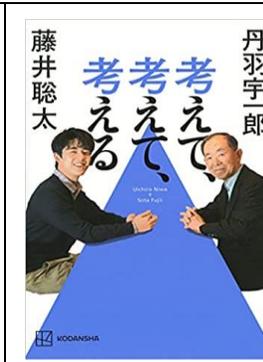
京大・総合人間学部の世界的火山学者の『活きた時間』は人気講義として有名。本書は、そのエッセンスを一冊にまとめたもの。成功人生を勝ち取るために、今すぐできる9つの戦略を、本で読んで刺激を受けてみては？



あきらめながらも、腹をくくる。受け入れながらも、視点をずらす。それが「楽観論」の意味するところである。日常を「ずらした視点」から眺めれば、ちょっと違った景色が見えてくる。未来を生きる新しい思考法のヒントに。



『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』に次ぐ本。「文学界」連載時から反響続々。現代社会の様々な思い込みを解き放ち、エンパシーを高め〈多様性の時代〉のカオスを生き抜くためにおススメの一冊。



藤井聡太、初の対談本。自らの19年間を語る。稀代の名経営者との対話から見えてきた異次元の天才の頭の中身は？より強くなるための学び方、心の整え方、とことんやってみることで見える風景。覗いてみては。



敵も化けている。決して騙されるな。若い女性の他殺体発見。警視庁に届く密告状。犯人はコルテシア東京のカウントダウン・パーティに!?。顔も分からない犯人を捕まえられるか!? ホテル最大の危機に名コンビが挑む。



祖父と母とで暮らしていたスチューイ。スチューイの世界では遊び友達のエリーが行方不明、エリーの世界ではスチューイがいなくなっているというパラレルワールドを描くミステリー。エドガー・アラン・ポー賞を受賞。



災害で大切な人を失った時の思いは？たとえ一人の死でも家族や恋人などにとってはかけがえのない命。その死が重なって報道される数となる。大災害時代の死と生を考える。忙しくても見過ごせない一冊。



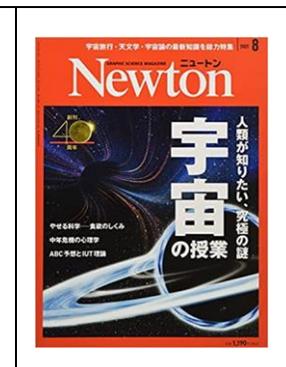
2003年の夏以降、甲子園大会はすべて現場で取材し、高校野球の現場で進む斬新な取り組みをルポ。球数制限、丸坊主の廃止、科学的トレーニングの導入など、新たな取り組みを始めた当事者たちの姿を追う。



「うまい物を食うと、本当に子供みたいな顔になるね。」恋人との最後の食事、今は亡き母にならったみそ汁の作り方…。ほろ苦くて温かな、忘れられない食卓をめぐる七つの物語。寒い冬、ほっこりしたい時にどうぞ。



「国語は冒険だ」と言われたら、驚きませんか？ 国語には、未知の世界や存在が溢れています。危険を恐れず踏み出せば、新しい自分、他者との出会い、成長への機会が待ち受けている、と「冒険」をモチーフに語ります。

			
<p>美帆、真帆、母智子。御厨家の女性たちは人生の節目とピンチを乗り越えるため、お金をどう貯めて、どう使うのか?知識が深まり、絶対「元」もとれちゃう「節約」家族小説!</p>	<p>ヘッセ、永井龍男から山川方夫、三浦哲郎まで。少年期の苦く切ない記憶、淡い恋情を描いた佳篇を教科書から精選。珠玉の12篇。文庫オリジナル。懐かしい名作を再び味わい、まだ出会えていなかった名作と出会うには最適の書。</p>	<p>自分の体と心を、たまには甘やかしてみませんか?取引先のパン屋が店を畳んでしまうピンチもありながら、今日も元気にお店を営業中。ドラマ化もされた、33万部突破の大ロングセラーシリーズ、待望の第五弾。</p>	<p>●特集 人類が知りたい究極の謎 ●第2特集 足し算とかけ算の未知なる関係の謎にせまる ●健康・医療 やせる科学—食欲のしくみ 脳を味方につけ、食べすぎずに満腹中枢をはたらかせるのがカギ</p>

令和3年度第2回レファレンス大会報告

10月29日金曜日に1時間程度実施しました。後期図書委員は、はじめて図書委員をする生徒が多く、レファレンス大会も初めてということで、ほとんどの生徒は、やや不安に感じていたり、めんどろだなど思っていたり、特に何も期待はしていなかったようですが、終わってみるとほぼ全員がそれなりに楽しめたと答えていました。A、Bの2種類のクイズどちらかでチャレンジしてもらい、早く正解を導き出した人の結果です。

- | | |
|------------|------------|
| Aの部 | Bの部 |
| ①3年4組 野口くん | ①2年2組 中山さん |
| ②1年2組 本岡さん | ②2年1組 濱さん |
| ③1年4組 小野さん | ③1年2組 井郷さん |

難易度の高いものもありました。何を手掛かりにするのか、本にたどり着くまで、またその本の記述にたどりつくまでが大変なのですが、簡単に答えにたどりつかないものの、楽しみながら粘って考える力に結びついているのではないかと思います。

本を探すのは大変だったけど、見つけた時の達成感がすごかった!!

他の年次の人たちと協力して本探しができたのが楽しかったです。

友達と協力して、普段だと手に取ることがないような本に触れられてとてもいい経験になりました。

今まで図書館の本がどんなふうにあるのかあまり気にすることがなかったから、今回参加しているの知れてよかったです。



ふだんなら絶対に見えないような本を手にした。書いてあるところを見つけた時、すごく興奮した。なかなか面白いゲームだった。



【石部くんのコメント】
みんなすごくレベルが高くてたくさんさんの刺激をもらい、いい経験ができました。後で行われた図書館見学もとても楽しかったです。

兵庫県高等学校ビブリオバトル結果報告

第1回目の校内ビブリオバトルの結果を受けて、本校から2人エントリーしました。石部くんがブロック予選で優勝し、最終的に準優勝という結果となりました。全国大会に出場できるのは一人だけ。全国大会まであと一歩でした。

開催日時*11月3日
場所 *甲南大学
主催 *甲南大学図書館
後援 *読売新聞社、兵庫県教育委員会

出場者と紹介した本 *
2年1組 浅井涼之介くん
『桶川ストーカー殺人事件—遺言』(清水 潔著)
2年7組 石部 薫くん
『八日目の蝉』(角田光代著)

11月19日金曜日に朗読会を開催します。本校の伝統的な行事で第33回目を迎えます。10組12名の人がお話をまじえながら、お気に入りの場面、文章を朗読します。図書委員の以外の方も奮ってご参加を!!

